

ビクトリーやまと 市長を表敬訪問

1月24日（日）に新潟市鳥屋野総合体育館で行われた「第25回春の全国小学生ドッジボール選手権 新潟県大会」で優勝し、全国大会出場の切符を手にした「ビクトリーやまと」の選手とスタッフ・保護者の皆さんが、2月15日（月）に田中市長を表敬訪問しました。

田中市長： 全国大会出場おめでとうございます。皆さんは月・水・土曜日に旧大和小学校で全国大会に向けた練習されていると伺っております、全国から各県1チーム、前年度優勝チーム1の計48チームが参加するとのことですが、新潟県代表として素晴らしい成績を残すよう期待しています。攻撃や守りなどそれぞれ役割はあると思うが、心を一つにして頑張ってください。

また、皆さんのチームワークもさることながら、保護者の皆さんや地域の方々の協力も素晴らしく、選手の皆さんからも感謝の気持ちを持っていただきたい。

渡辺凌太くん（キャプテン 6年生）： 全国大会では良い成績を挙げて新潟に帰ってきます。

五十嵐大樹監督： 県大会が終わって約3週間、全国大会に向けてレベルアップを図ってきた。インフルエンザも落ち着いてきたので、全国大会では全員の力を結集し頑張りたい。



キャプテン 渡辺くん



ごずっちょも応援してます。



下段 1月24日の県大会の様子 写真提供：ビクトリーやまと 渡辺さん

コーチ 水野一芳さん ・ マネージャー 五十嵐晃さん

ドッジボールは我々の子供の頃からあったスポーツですが、当時とは比較にならないほどハードになっており、全国大会レベルだと球速は時速80kmを超えています。チーム編成も5年生・6年生主体のチームがほとんどで、「ビクトリーやまと」のように3年生・4年生が半分を占めるチームは少ないです。当らなければ負けない。今回も素晴らしい選手がそろっているので頑張ってお話がありました。

全国大会は、2月21日（日）に東京体育館で行われますが、選手の皆さんは新幹線で東京に向かうようで、楽しみにしているようです。風邪が流行していますが皆さんの活躍を期待しております。